

令和6年3月

湯梨浜町議会定例会

令和6年度

一般会計

当初予算参考資料

(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町

【まちづくり企画課】

令和6年度 一般会計
歳出予算事業概要書 目次

歳出予算

款	項	ページ
2. 総務費		
	1. 総務管理費	1
	5. 統計調査費	29

歳出予算事業概要書

(単位:千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費	
事業	大	0012 跡地利用検討事業 (簡略番号:001106)				
	中					
	小					
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定		事業の種類	未設定		
補助単独区分	目的区分 総-総-その他					

所属	0101010800-0000		まちづくり企画課			
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	204	3,393	△3,189	2,758	495
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	204	3,393	△3,189	2,758		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 旧北浜中学校等跡地の利活用に向けた企業誘致活動等を行う。
【事業の必要性】
 町の活性化及び産業の振興のため、貴重な町有財産である中学校等跡地を有効活用することが必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況
 旧北浜中学校等用地 (田後745番地 他)

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 未来を創造する先駆的なまちづくり (公共施設の跡地利用) にぎわいと活力あるまちづくり (誘致体制の整備)
【SDGs】 目標 8 「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 <旧北浜中エリア>
 企業等への誘致に向けた取組みを進める。
【事業の効果】
 有効性の高い利活用により、町の活性化及び産業振興に寄与する。
【令和5年度評価】
 旧北浜中エリアについては、民間提案募集等を実施するものの応募がなかったことから、引き続き有効活用に向け取組を進める必要がある。
 旧東郷中エリアについては、個人名義の土地を町名義へ登記変更等を行うとともに、民間提案募集により決定した優先交渉権者との協議の進展を図った。

6. 財源の説明
【一般財源】 204千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	12	12	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	130	130	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	58	58	25 寄附金		
11 役務費	4	4	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	204	204

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部	章	節	細節	実施計画計上額

02款 01項 06目 001200000事業 跡地利用検討事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0025	ボランティア団体育成支援事業 (簡略番号：001175)					
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

		所属		0101010800-0000	まちづくり企画課	
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	570	564	6	564	485
	国庫支出金					
	県支出金	131	116	15	169	
	地方債					
	その他					
	一般財源	439	448	△9	395	

【事業概要】	
1.	事業の概要と必要性 【事業の概要】 ボランティア団体の育成支援の取組を進める。 【事業の必要性】 協働のまちづくりの推進に向けた住民参加型の地域活動の促進のため、ボランティア団体等の育成が必要である。
2.	根拠法令 湯梨浜町ボランティア団体登録要綱 湯梨浜町いきいきボランティア団体活動助成事業実施要綱
3.	用地の状況
4.	基本計画との関連 【地方創生総合戦略】 基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち（まちのにぎわい創出や拠点の形成） 【第4次総合計画】 共に支え合う町民が主役のまちづくり（住民参画社会の推進） 【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」
5.	本年度の計画効果 【本年度の計画】 ①ボランティア登録団体の活動助成②各団体の活動紹介（町報等） 【事業の効果】 活動助成を行うことで活動の充実と促進を図ることができる。また、活動の紹介や優秀団体の表彰を行うことによって、当該団体はもとより、町民のボランティア活動に対する意識の高揚を図ることができる。 【令和5年度評価】 新たに1団体の登録があったほか、助成金申請のあった既登録10団体の活動ではコロナ禍前の水準への回復が見られた。
6.	財源の説明 【県支出金】 市町村創生交付金（いきいきボランティア団体活動助成事業）131千円 【一般財源】 439千円

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	553	553
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	6	6	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	5	5	25 寄附金		
11 役務費	6	6	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	570	570

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101424	市町村創生交付金（いきいきポ	131	116

【補助金】	
補助金等の名称	鳥取県市町村創生交付金
補助基本額	553
補助率	23.7%
補助金額	131

【実施計画】			
実施 計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節 細節		

02款 01項 06目 002500000事業 ボランティア団体育成支援事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0031 コミュニティ助成事業 (簡略番号：001206)				
	中				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属		0101010800-0000	まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	22	21	1	12,421	5,409
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他			12,400	
	一般財源	22	21	1	21

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
 【事業の概要】
 (一財) 自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を利用し、各集落・団体のコミュニティ活動に直接必要な施設又は設備の整備を行う。
 【事業の必要性】
 コミュニティ活動に取り組む地域住民の連帯意識の向上と地域の活性化を図るため。

2. 根拠法令
 コミュニティ助成事業実施要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
 【地方創生総合戦略】基本目標Ⅲ町民みんなが創るまち(まちのにぎわい創出や拠点の形成)
 【第4次総合計画】共に支え合う町民が主役のまちづくり(コミュニティ活動の促進)
 【SDGs】目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
 【本年度の計画】
 本事業における採択・不採択通知及び次年度募集案内を送付する。
 【事業の効果】
 本事業の内容を関係集落等に周知することができる。
 【令和5年度評価】
 6集落に対し計12,400千円の助成を行いコミュニティ活動の活性化を図ることができた。

6. 財源の説明
 【一般財源】22千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	22	22	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	22	22

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 003100000事業 コミュニティ助成事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0042 まちづくり創造事業 (簡略番号：001229)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属		0101010800-0000	まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	702	502	200	502	200
財源内訳	国庫支出金	350	250	100	250
	県支出金		52	△52	
	地方債				
	その他				
	一般財源	352	200	152	252

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 自主的、継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。
 ○まちづくり創造事業
 対象事業は、原則として新規事業であり、事業成果の持続性（原則3年以上）及び活性化が図られるソフト事業で、審査会により採択の可否を決定する。
 ○まちづくりステップ事業
 まちづくり創造事業で3年間経過した団体のうち、その事業成果の有効性があるものについて、さらに3年間の助成を行う（審査会で採択の可否を決定）。
【事業の必要性】
 自主的、継続的なまちづくり創造活動を行う団体の活動を支援することにより、町の活性化及び振興の中核になる人材育成が図られ、住民が主体となるまちづくりを促進できる。

2. 根拠法令
 湯梨浜町まちづくり創造事業実施要綱・湯梨浜町まちづくりステップ事業実施要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う 町民が主役のまちづくり(コミュニティ活動の促進)
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくり」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 新規申込みの際は審査会を開催し、採択の可否を決定する。既採択団体には、活動に対する経費の一部を助成する。
【事業の効果】 住民主体によるまちづくりの機運醸成を図ることができる。
【令和5年度評価】
 新規団体が1団体あり、町民との協働のまちづくりの推進を図ることができた。

6. 財源の説明
【国庫支出金】 デジタル田園都市国家構想交付金 350千円
【一般財源】 352千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	700	700
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	2	2	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	702	702

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	350	250
都道府県支出金	15020101419	市町村創生交付金（まちづくり）		52

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 004200000事業 まちづくり創造事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0051 集落支援事業 中 小 細	(簡略番号：022240)			
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	39,893	40,198	△305	38,045	31,531
	県支出金	700	2,725	△2,025	634	
	地方債	4,500	4,300	200	4,300	
	その他	755	709	46	705	
	一般財源	33,938	32,464	1,474	32,406	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 集落が実施する交流活動や防災活動等に対し、世帯数や事業規模に応じて交付金を交付する。
【事業の必要性】
 集落の自主的な活動に対する支援によって、地域の活性化や住みよいまちづくりを推進する。

2. 根拠法令
 湯梨浜町集落づくり総合交付金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う 町民が主役のまちづくり(コミュニティー活動の促進)
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画及び事業の効果】
 ①区長等事務費交付金…各区長や班長等の連絡事務経費を助成し、行政事業を推進。
 ②集落運営交付金…一般活動経費を助成し、円滑な集落運営を図る。
 ③自主防災組織運営交付金…災害訓練や機械維持経費を助成。防災意識を高揚・啓発。
 ④防犯灯維持管理交付金…集落が管理する防犯灯の維持経費を助成し、安全を推進。
 ⑤防犯灯設置交付金…集落が設置する防犯灯の設置費等を助成し、防犯強化を図る。
 ⑥集落活性化事業交付金…集落の活性化に資する各種事業に対する支援を行う。
 ⑦アカーゴ対策臨時交付金…コト禍で制限された自治会活動を復興するための支援を行う。
 ⑧各集落に対する伴走型支援…当該交付金等の申請書類作成に係る出張支援等を行う。
【令和5年度評価】 75区に交付金を交付するなど、集落の活性化を図ることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 星空に優しい安心なまちづくりLED防犯灯設置等促進事業補助金 274千円
 防災・危機管理対策交付金(自主防災組織運営事業) 426千円
【繰入金】 地域振興基金繰入金 444千円 ふるさと振興まちづくり基金繰入金311千円
【地方債】 過疎対策事業債(集落づくり総合交付金事業) 4,500千円(泊・東郷地域)
【一般財源】 33,938千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	39,829	39,829
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	64	64	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	39,893	39,893

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101218	星空に優しい安全なまちづくり	274	552
都道府県支出金	15020101413	防災・危機管理対策交付金(自	426	2,173
		繰入金	444	400
	18020801401	地域振興基金繰入金	444	400
	18021301001	ふるさと振興まちづくり基金繰	311	309
	21010102002	過疎対策事業債(集落支援事業	4,500	4,300

【補助金】

補助金等の名称	星空に優しい安心なまちづくりLED防犯灯設置促進事業補助金ほか			
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 005100000事業 集落支援事業

【事業名】 集落支援事業

【事業概要等】

集落支援事業

1 集落づくり総合交付金支援事業

(1) 交付金概要

名 称	内 容	交付金額の算出方法
集落運営交付金	集落運営費(集落の一般活動分)	2,000円×世帯数(令和6年4月1日現在)
防犯灯維持管理交付金	維持管理費	2,400円×各区管理灯数(令和6年4月1日現在)
区長等事務費交付金	区長等経費補助(連絡事務経費)	均等割: 50,000円 世帯割: 1,000円×世帯数(令和6年4月1日現在)
自主防災組織運営交付金	均等分(自主防災組織の設置区)	5,000円
	訓練活動分(消防・防災・避難等訓練、研修会)	500円×参加世帯数×回数(上限: 30,000円×3回)
	機械維持管理分(消防用小型ポンプの維持管理費)	5,000円
防犯灯設置等交付金	防犯灯設置費(集落が維持管理をするLED設備の設置)	事業費×2/3(上限: 50,000円/基) ①明るさ1,200lm(ルーメン)以下、かつ②上方への光の漏れが少なくなるよう配慮されたLED防犯灯の新設・更新が対象。ただし、支柱に係る経費は1/2補助。
	防犯灯撤去費(集落が維持管理している防犯灯の撤去)	事業費×1/2(上限: 19,000円/基)
集落活性化事業交付金	集落の活性化事業(地区内の清掃美化活動、伝統行事の保存活動、運動会などの住民交流行事など)	事業費×1/2 ※交付上限額は、区の世帯数によって異なる。
アフターコロナ対策 臨時交付金	新型コロナの影響により制限された集落活動の復興及び更なる活性化を図る。 ※令和5・6年度に限り交付。	集落活性化事業交付金の上限額の1/4

2 集落に対する伴走型支援

■支援内容

- ①集落づくり総合交付金を始めとする各種申請書類の作成に係る出張支援
- ②区長宅等への訪問を通じた集落の現状点検
- ③集落活動の充実に向けた情報の提供や助言 など

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0053	天女のふる里づくり事業 (簡略番号：032338)					
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

所属	0101010800-0000		まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	7,464	297	7,167	235	584
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	50		50	
	地方債				
	その他	2,709	225	2,484	162
	一般財源	4,705	72	4,633	73

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 東郷池の象徴である「天女」を活用したまちづくりを推進する。
【事業の必要性】
 東郷池のポテンシャルを最大限活かすためのキーワードとして「天女」を活用し、本町の強みを生かした特色あるまちづくりを推進し、地域活性化を促す。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【地方創生総合戦略】 基本目標 I 活力ある元気なまち（観光産業の振興）
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり（観光の振興）
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①天女が関係自治体を通じた町のPR、②景観の保全、③地域おこし協力隊による緑化推進、④宇宙桜植樹関係事業の推進、⑤花と緑のまちづくり支援、⑥東郷湖「花」基金積立て等を行う。
【事業の効果】
 天女をキーワードにまちづくりを推進することにより、地域の魅力向上に向けた事業展開を図ることができる。
【令和5年度評価】
 天女関係市町イベントの中止に伴うPR不足や地域おこし協力隊が任用に至らず緑化推進の滞り等はあったが、宇宙桜関係団体との交流によるPRや地元ボランティアとの活動を通じた緑化維持・推進を図ることができた。

6. 財源の説明
【諸収入】 観光宣伝用ピンバッジ販売代金 24千円、観光宣伝用トートバック販売代金 10千円
【繰入金】 天女のふる里東郷湖「花」基金繰入金 673千円
【寄附金】 天女のふる里東郷湖「花」基金寄附金 2,000千円
【財産収入】 基金預金利息 2千円
【県支出金】 花と緑のまちづくり支援事業補助金 50千円
【一般財源】 4,705千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,992	1,992	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	487	487	18 負担金、補助及び交付金	1,746	1,746
04 共済費	422	422	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	206	206	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金	2,002	2,002
10 需用費	80	80	25 寄附金		
11 役務費	9	9	26 公課費		
12 委託料	504	504	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料	16	16	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	7,464	7,464

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101446	県花と緑のまちづくり支援事業	50	
寄附金	17010101003	天女のふる里東郷湖「花」基金	2,000	
財産収入	16010201418	天女のふる里東郷湖「花」基金	2	
繰入金	18021501001	天女のふる里東郷湖「花」基金	673	197
諸収入	20050302242	観光宣伝用ピンバッジ販売代金	24	20
諸収入	20050302296	観光宣伝用トートバック販売代	10	8

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		

02款 01項 06目 005300000事業 天女のふる里づくり事業

【事業名】 天女のふる里づくり事業

【事業概要等】

1 天女サミット関係団体交流等事業（事業費 87千円）

- ・ 連携市町（大阪府高石市）実施のイベント参加を通じて町のPRを行う。

2 東郷湖周の景観保全事業（事業費 433千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環として、東郷湖周の景観保全等を行う。
 - ・ 旧桜小学校の西側及び北側斜面の雑草等の除去
 - ・ 東郷湖周設置のモニュメント維持管理

3 地域おこし協力隊（コミュニティ・ガーデナー）事業（事業費 4,479千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環である町内の緑化推進のため、地域おこし協力隊を任用し以下の活動を行う。
 - ・ 天女桜をはじめとする桜の保護保全活動
 - ・ 緑化活動団体の育成等、町民の緑化活動の推進支援
 - ・ 町内の花や植物、樹木の魅力についての情報発信

4 宇宙桜（天女桜）関係事業（事業費 244千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環として、宇宙を旅した桜の種から生育した苗木を「天女桜」としてPR等を実施する。
 - ・ 宇宙桜により交流を始めた県外の市町村との広域交流祭典「復興宇宙サミット」への出席を通じた自治体交流の推進及び町のPRの実施
 - ・ 旧桜小学校敷地内に植樹している宇宙桜（天女桜）の地元ボランティア等による維持管理の実施

5 花と緑のまちづくり支援事業補助金（事業費 219千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環である町内の緑化推進のため、補助金交付により住民団体等が行う緑化活動の支援を行う。
 - ・ 町内5㎡以上の広さで行われる、経費10千円以上の事業に対し、100千円を上限として助成

6 天女のふる里東郷湖「花」基金積立金（事業費 2,002千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環である町内の緑化推進の財源として、ふるさと納税制度を活用して寄付を募り、基金を積み立てる。

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0054 地域にぎわい創出事業 (簡略番号：033328)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属		0101010800-0000		まちづくり企画課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,537	3,556	△19	2,876	1,752
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	1,500	1,500		1,000
	その他	2,000	2,000		1,800
	一般財源	37	56	△19	76

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 地域が主体的に取り組む「祭り・運動会・芸能大会・スポーツ大会・文化祭」に対して補助金を交付する。
【事業の必要性】
 地域の活動を支援することにより、にぎわい創出と住民間の交流の促進を図る。

2. 根拠法令
 湯梨浜町地域にぎわい創出事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う 町民が主役のまちづくり（コミュニティー活動の促進）
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 地域が実施する「祭り、運動会、芸能大会、スポーツ大会、文化祭」に対して補助金を交付。
【設定地域】
 12地域（羽合：7地域、東郷：4地域、泊：1地域）
【補助率・補助金限度額】
 補助率：10/10、限度額：地域均等分90,000円＋地域の人口×150円
【事業の効果】
 補助金の交付により、地域住民が協調して自主的に事業を計画・実施することで、参画と協働による地域づくりと地域内における連携体制の強化を図り、にぎわいを創出することができる。
【令和5年度評価】
 新型コロナウイルス感染防止のため行事を中止とした地域が1つあったが、それ以外の地域では納涼祭・運動会等の事業が実施され、にぎわい創出と住民間の交流の促進を図ることができた。

6. 財源の説明
【地方債】 過疎対策事業債（地域にぎわい創出事業） 1,500千円
【繰入金】 元気なまちづくり基金繰入金 2,000千円
【一般財源】 37千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,531	3,531
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	6	6	26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,537	3,537

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18020501001	元気なまちづくり基金繰入金	2,000	2,000
地方債	21010102008	過疎対策事業債（地域にぎわい	1,500	1,500

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 005400000事業 地域にぎわい創出事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費	
事業	大	0115	地方路線バス維持事業 (簡略番号：001296)						
	中								
	小								
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常			
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定					
補助単独区分			目的区分	総-総-その他					

		所属	0101010800-0000		まちづくり企画課		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	12,240	9,567	2,673	13,117	14,593	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債	200	200		200		
	その他						
	一般財源	12,040	9,367	2,673	12,917		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 路線バス運行事業者の補助や高齢者の定期券購入助成等を行う。
【事業の必要性】
 高齢者や学生など自ら交通手段を持たない住民の生活交通である地方バス路線の確保・維持等を行う必要がある。

2. 根拠法令
 (国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱
 (町) 湯梨浜町補助金等交付規則・湯梨浜町高齢者定期券購入費助成要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 安全で住みやすいまちづくり (交通環境の充実)
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①令和5年10月1日から令和6年9月30日までの路線バスの運行実績に応じて日本交通㈱に補助する。(国庫補助対象路線3路線、単独路線1路線)
 ②日本交通㈱が販売している高齢者定期券「シルバー悠遊」と日本交通㈱・日ノ丸自動車㈱が販売している「ランド70」の購入者に対して購入額に応じた助成を行う。
【事業の効果】
 住民生活に必要な公共交通であるバス路線の維持等を行い、利便性の向上を図ることができ。
【令和5年度評価】
 バス路線維持に係る補助金や高齢者定期券購入助成を行い、バス路線の維持・確保や利用促進を図ることができた。

6. 財源の説明
【地方債】 過疎対策事業債 (高齢者定期券購入費助成事業) 200千円
【一般財源】 12,040千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	12,023	12,023
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	150	150	25 寄附金		
11 役務費	57	57	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	10	10	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	12,240	12,240

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010102015	過疎対策事業債 (高齢者定期券)	200	200

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

02款 01項 06目 011500000事業 地方路線バス維持事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0124	湯梨浜夏まつり事業補助金	(簡略番号：001326)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	総-総-その他			

		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財 源 内 訳	事業費	4,760	5,269	△509	4,960	4,767
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,760	5,269	△509	4,960	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 湯梨浜夏まつり実行委員会に対し、水郷祭・とまり夏まつりの花火代、綱引き大会の運営費等の補助を行う。
【事業の必要性】
 合併以前より引き継がれている伝統ある夏の一大イベントの開催を通じて地域の活性化及び産業の振興につなげる。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(観光の振興)
【SDGs】目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 湯梨浜夏まつり実行委員会に対し、各まつりと綱引き大会の運営費の一部を補助する。
【開催日程】(予定)
 ①綱引き大会:令和6年7月20日(土)
 ②水郷祭:令和6年7月21日(日)
 ③とまり夏まつり:令和6年7月27日(土)
【事業の効果】
 湯梨浜夏まつり実行委員会が各地域で夏まつりイベント(水郷祭、とまり夏まつり、綱引き大会)を開催することにより、地域の連帯・活性化及び観光面における町への誘客効果が期待できる。
【令和5年度評価】
 水郷祭、とまり夏まつり、綱引き大会とすべてのイベントを4年ぶりに開催。地域の活性化等を図る事ができた。

6. 財源の説明
【一般財源】4,760千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,760	4,760
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,760	4,760

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 012400000事業 湯梨浜夏まつり事業補助金

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0127	ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会補助金	(簡略番号：001338)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,981	2,991	△10	2,174	2,210
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	2,100	2,100		1,300
	その他	800	800		800
	一般財源	81	91	△10	74

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
<p>【事業の概要】 町及び公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会の主催で全国の小学生からの参加者を募り、グラウンド・ゴルフ発祥の地である湯梨浜町で大会を開催し、ジュニアスポーツ人口の拡大と青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業の必要性】 昭和57年に気軽に誰もが楽しめる生涯スポーツとして誕生したが、その年齢層は高齢化している。そのため、発祥地の責務として、ジュニア世代への普及・啓発が必要である。</p>	
2. 根拠法令	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
<p>【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）</p> <p>【SDGs】 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」</p>	
5. 本年度の計画効果	
<p>【本年度の計画】 第19回ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会の開催</p> <p>・期日(予定)：令和6年8月3日(土)～4日(日) (会場：潮風の丘とまりほか)</p> <p>・募集人数：180名(小学生の部)、60名(付添者の部)</p> <p>【事業の効果】 本大会を通して、青少年へのグラウンド・ゴルフの普及が図られるとともに、世代や地域を超えた交流推進を図ることができる。また、地域の産業や観光資源を活用することにより、地域の活性化が期待される。</p> <p>【令和5年度評価】 総勢146名(うち県外37名)の参加者のもと本大会を開催。町補助金交付により大会の開催を支援し、ジュニア世代への普及に努めることができた。</p>	
6. 財源の説明	
<p>【繰入金】 ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会基金繰入金 800千円</p> <p>【地方債】 過疎対策事業債(ジュニアグラウンドゴルフ発祥地大会) 2,100千円</p> <p>【一般財源】 81千円</p>	

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,981	2,981
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,981	2,981

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021001001	ジュニアグラウンド・ゴルフ発	800	800
地方債	21010102004	過疎対策事業債(ジュニアグラ)	2,100	2,100

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】				
実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 012700000事業 ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会補助金 (9)

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0221	さくら工芸品工房管理運営臨時経費 (簡略番号：040500)					
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

		所属	0101010800-0000		まちづくり企画課		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	4,617	213	4,404	213	1,474	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債	4,600		4,600			
	その他						
	一般財源	17	213	△196	213		

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 近年の猛暑に鑑み、各工房(A、B、C、D)にエアコンを増設する。
【事業の必要性】
 施設利用者に快適な環境が提供できるとともに、誘客効果が期待できる。
- 根拠法令
 さくら工芸品工房の設置及び管理に関する条例
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり
【SDGs】目標8「働きがいも経済成長も」
- 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 各工房(A、B、C、D)にエアコンを増設する。
【事業の効果】
 施設利用者に快適な環境が提供できるとともに、誘客効果が期待できる。
【令和5年度評価】
 屋上防水補修工事等を行ったことで、安心・安全な施設環境を提供できた。
- 財源の説明
【地方債】 過疎対策事業債(さくら工芸品工房エアコン改修事業) 4,600千円
【一般財源】 17千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	4,617	4,617			
15 原材料費			合 計	4,617	4,617

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	2101010204	過疎対策事業債(さくら工芸品	4,600	

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額	補助率	補助金額	

【実施計画】

実施 計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

02款 01項 06目 022100000事業 さくら工芸品工房管理運営臨時経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0225 縁結び推進事業 (簡略番号：033847)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	162	136	26	156	18
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	25		25	25
	地方債				
	その他				
	一般財源	137	136	1	131

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 ①縁結び支縁員を公募し応募者に対する研修を行った後に支援員として登録。支縁員が行う結婚相談等の活動に対し、婚姻成約時の奨励金の支給等により支援を行う。
 ②県が運営するマッチングシステム「えんトリー」入会者に対し登録料を補助する。
 ・奨励金：縁結び奨励金として、婚姻成立1組につき50,000円を交付する。
 ・補助金：えんトリー入会登録料（10,000円）を一度に限り全額補助する。
【事業の必要性】
 日本の伝統である仲人の活動やマッチングシステム登録料の支援により結婚者数の増加を図ることで、定住促進と少子化対策に寄与する。
 [縁結び支縁員登録者数] 令和5年12月末現在:11名 令和6年度目標:13名(目標:2名増)
 2. 根拠法令
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【地方創生総合戦略】 基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち（結婚の出会いの場づくりと情報提供）
【第4次総合計画】 安全で住みやすいまちづくり（移住定住の推進）
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 地域において縁結びを支援していただける人の活動支援及びマッチングシステムの登録料補助により、男女の出会いの機会の創出を図る。
【事業の効果】
 結婚者数の増加を図ることで、定住促進と少子化対策に寄与する。
【令和5年度評価】
 えんトリー入会登録補助及び縁結び支援員の活動により出会いの機会創出を図ることができた。
 6. 財源の説明
【県支出金】 鳥取県縁結び仲人成果報酬支給補助金 25千円
【一般財源】 137千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	50	50
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	108	108	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	4	4	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	162	162

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101461	鳥取県縁結び仲人成果報酬支給	25	

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

令和6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	0278 ワーク・ライフ・バランス推進事業 (簡略番号：035316)				
大					
中					
小					
細					
事業期間	令6.4.1~令7.3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分	目的区分 総-総-その他				

所属	0101010800-0000		まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	290	340	△50	250	150
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	290	340	△50	250

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性 【事業の概要】 町内の中小企業者、一般勤労者等を対象に、ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催する。男女ともに子育て等の生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深めながら、子育て等がしやすい社会づくりを推進する。 【事業の必要性】 男女ともに子育て等の生活と仕事を両立できる職場環境づくりのために必要である。	
2. 根拠法令 湯梨浜町男女共同参画条例	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連 【地方創生総合戦略】基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち(子育て環境の推進) 【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(男女共同参画社会の実現) 【性別にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくりプラン(仮称)】 【SDGs】目標5「ジェンダー平等を実現しよう」	
5. 本年度の計画効果 【本年度の計画】 ①セミナーの開催 企業、一般勤労者等を対象に、ワーク・ライフ・バランス関連セミナーを開催する。 ②男女共同参画環境づくり奨励事業補助金の交付 町内事業者がワーク・ライフ・バランスの取り組みを始める契機とするため、該当事業者に対して補助金を交付する。 【事業の効果】 男女ともに子育て等の生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等がしやすい社会づくりを推進することができる。また、鳥取県男女共同参画推進認定企業増加につながり、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ることができる。 【令和5年度評価】 町内事業者及び一般町民を対象としたセミナーの開催によって、ワーク・ライフ・バランスについて理解を深めることができた。	
6. 財源の説明 【一般財源】 290千円	

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	180	180
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	100	100	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	10	10	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	290	290

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】	
補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】			
実施計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

02款 01項 06目 027800000事業 ワーク・ライフ・バランス推進事業

歳出予算事業概要書

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0282 婚活連携事業		(簡略番号: 035332)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類 未設定					
補助単独区分	目的区分 総-総-その他							

財源内訳		区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
		事業費	200	200		200	200
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	200	200		200		

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 【事業の概要】
 結婚を希望しながら、結婚に対する意識の低さや出会いの機会に恵まれない独身者を支援するため、中部5市町が連携して広域型婚活イベント、セミナーを開催し、多様な出会いの場を提供する。
 【事業の必要性】
 未婚化・晩婚化による少子化が社会的問題となる中、広域的なセミナー、イベントを実施する。幅広い地域から参加者を確保し、出会いや学びの機会を提供することで結婚を支援するとともに、定住促進と少子化対策を行う。
- 根拠法令
- 用地の状況
- 基本計画との関連
 【地方創生総合戦略】基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち(結婚の出会いの場づくりと情報提供)
 【第4次総合計画】安全で住みやすいまちづくり(移住定住の推進)
 【SDGs】目標11「住み続けられるまちづくりを」
- 本年度の計画効果
 【本年度の計画】
 鳥取中部ふるさと広域連合に中部婚活担当者会議の事務局を設置し、広域型婚活事業(セミナー、イベント)を開催する。
 【事業の効果】
 広域的なセミナー、イベントの開催により、出会いの機会を創出するとともに、結婚を支援することができる。
 【令和5年度評価】
 中部市町の連携により、各種イベントを開催。食事を伴うイベントが再開され、また、えんとりー未加入者の加入に向けた婚活相談会等が実施された。
- 財源の説明
 【一般財源】 200千円

【事業費内訳】

節		本年度要求	本年度査定	節		本年度要求	本年度査定
01	報酬			16	公有財産購入費		
02	給料			17	備品購入費		
03	職員手当等			18	負担金、補助及び交付金	200	200
04	共済費			19	扶助費		
05	災害補償費			20	貸付金		
06	恩給及び退職年金			21	補償、補填及び賠償金		
07	報償費			22	償還金、利子及び割引料		
08	旅費			23	投資及び出資金		
09	交際費			24	積立金		
10	需用費			25	寄附金		
11	役務費			26	公課費		
12	委託料			27	繰出金		
13	使用料及び賃借料				予備費		
14	工事請負費						
15	原材料費						
					合計	200	200

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

令和6年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0296 地域おこし協力隊起業・事業承継支援事業 (簡略番号：038644)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定	補助単独区分	目的区分 商-その他

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課				
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	3,000		3,000		
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	3,000			3,000		

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
【事業の概要】 任期終了前後の地域おこし協力隊員に対し、起業や事業承継に係る経費を補助することで隊員の定住・定着を支援するとともに、新たな事業を支援することで、地域の活性化を図るもの。 ・補助率：10/10、限度額：1,000千円/人 【事業の必要性】 隊員の定住・定着には、退職後の生業の確保が大きな課題であり、起業において最初のハードルとなる初期投資に対し支援を行い、定住への負担を軽減することが必要である。	
2. 根拠法令	
湯梨浜町地域おこし協力隊設置要綱 湯梨浜町地域おこし協力隊起業・事業承継支援補助金交付要綱	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (商工業の振興) 【SDGs】 目標11「住みつけられるまちづくりを」	
5. 本年度の計画効果	
【本年度の計画】 任期終了前後の地域おこし協力隊員に対し、起業や事業承継に係る経費を支援する。 【事業の効果】 補助金の交付により隊員の起業等に対する負担を軽減し、定住・定着を促進する。 【令和5年度評価】 実績なし。	
6. 財源の説明	
【一般財源】 3,000千円 (特別交付税措置 上限3,000千円)	

【事業費内訳】					
	節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01	報酬			16 公有財産購入費	
02	給料			17 備品購入費	
03	職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,000
04	共済費			19 扶助費	
05	災害補償費			20 貸付金	
06	恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07	報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08	旅費			23 投資及び出資金	
09	交際費			24 積立金	
10	需用費			25 寄附金	
11	役務費			26 公課費	
12	委託料			27 繰出金	
13	使用料及び賃借料			予備費	
14	工事請負費			合計	3,000
15	原材料費				3,000

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額	補助率	補助金額		

【実施計画】				
実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 029600000事業 地域おこし協力隊起業・事業承継支援事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計

現年 当初予算

(単位: 千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費	
事業	大 0313 新たな交通体系支援事業 (簡略番号: 041993)	中		細		
事業期間	令 6. 4. 1~令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	総-総-その他		

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	495	495		167
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	495	495		167

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】集落等が取り組む移動支援活動に対し、支援・補助を行うものである。
 - 【事業の必要性】公共交通の縮減等により移動手段に制限がある高齢者や交通弱者等に対し、移動手段の確保を行っていく必要がある。
- 根拠法令
 - 湯梨浜町共助交通支援事業実施要綱
- 用地の状況
- 基本計画との関連
 - 【第4次総合計画】安全で住みやすいまちづくり (交通環境の充実)
 - 【SDGs】目標11「住み続けられるまちづくりを」
- 本年度の計画効果
 - 【本年度の計画】
 - 共助交通に取り組む際に使用する車両に係る自動車任意保険料等の補助を行う。
※補助金上限等の拡充を計画
保険料補助: 上限135千円、運行に必要な消耗品等: 上限3万円
 - 地域の高齢者や交通弱者等の移動支援に取り組む際の車両確保のため、閉庁日に町公用車を貸し出す。 - 【事業の効果】高齢者や交通弱者等の日常生活における移動手段の一定の確保が可能になるとともに、集落等が取り組みを行うことにより集落活動の活性化を図ることができる。
 - 【令和5年度事業評価】本年1月末時点で1つの集落が活動を行っているが、そのほか実施を検討している集落もあり、引き続き支援を行い移動手段の確保につなげていきたい。
- 財源の説明
 - 【一般財源】495千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	495	495
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	495	495

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

02款 01項 06目 031300000事業 新たな交通体系支援事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0316	SDGs推進事業	(簡略番号：042769)				
事業	中							
事業	小							
事業	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	総-総-その他			

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	695	243	452	198	88
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	695	243	452	198

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 国際社会共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の更なる推進を図るため、町民及び関係団体・事業者等ステークホルダーと連携して総合的な取組を行う。
【事業の必要性】
 「持続可能で誰一人取り残さない」社会の実現というSDGsのコンセプトは第4次総合計画の基本理念にも位置付けられ、SDGsの達成に向けた取組を行うことで、「住みやすく魅力と活気あふれる 愛のまち」を推進することができる。
 2. 根拠法令
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
 第4次総合計画（全般） 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（全般）
 SDGs 全目標（1～17）
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①東郷池の豊かな恵みをつなぐ湯梨浜Well-beingタウンプロジェクト
 ②ゆりはまSDGsセミナー
 ③SDGsまちづくり授業
 ④わたしのSDGs行動宣言
【事業の効果】
 様々なステークホルダーが連携する事業の企画・実践によって、町全体でSDGsの推進を図ることができる。
【令和5年度評価】
 各種事業の実施により住民等へのSDGsの啓発を行い、認知度の向上を図ることができた。
 6. 財源の説明
 一般財源：695千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	295	295	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	5	5	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	170	170	25 寄附金		
11 役務費	5	5	26 公課費		
12 委託料	220	220	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	695	695

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

02款 01項 06目 031600000事業 SDGs推進事業

【事業名】 SDGs推進事業

【事業概要等】

「東郷池の豊かな恵みをつなぐ湯梨浜Well-beingタウンプロジェクト（仮称）」

※Well-being：心も身体も社会的にも”満たされた状態”、実感としての幸せ、心の豊かさなどを表す言葉

≪取組のポイント≫

- ① 東郷池によってもたらされる自然、温泉、水産物など豊かな恵みや資源を再認識し、多様な地域人材との協働により磨き上げ、地域への愛着と誇りをもって能動的な行動を誘発するために「シビックプライド」（まちづくりの当事者意識を伴うまちに対する誇り）の醸成を図り、2030年に向けて持続可能で「Well-being」なまちづくりを目指す。
- ② ステークホルダー（利害関係者）とのパートナーシップによる町総ぐるみ運動（町民及び産官学金連携）につなげる。
- ③ 都市と地方、生産地と消費地、人と自然をつなぐ流れを呼び込み、持続可能な地域づくりに一体的に取り組む。

1 将来ビジョン

【全体】シビックプライドの醸成とWell-beingなまちづくりの実現

【社会】誰もが健幸で自分らしく生涯活躍できる

- ・学び活躍する場の充実
- ・健幸な暮らしの実現

【環境】東郷池を中心とした地域の自然を守り育て未来につなぐ

- ・脱炭素・循環型社会の実現
- ・自然環境保全の意識醸成

【経済】地場産業を継承し、新たな価値を創造する

- ・地場産業の維持、新たな価値の創出
- ・付加価値の高い産業基盤構築

※「社会」、「環境」、「経済」の三側面の好循環による取組を行う。

2 プロジェクト（7つのプロジェクト）

（1）社会

- ①地域学習でWell-beingプロジェクト
 - ・シビックプライドを醸成する学びの場の提供
- ②健幸でWell-beingプロジェクト
 - ・健幸づくりの機会の提供
- ③DXでWell-beingプロジェクト
 - ・人に優しいデジタル化の推進

（2）環境

- ④脱炭素でWell-beingプロジェクト
 - ・脱炭素・循環型の地域環境づくり
- ⑤環境を守ってWell-beingプロジェクト
 - ・環境意識を高める人づくり・まちづくり

（3）経済

- ⑥地元産業を元気にWell-beingプロジェクト
 - ・地場産業の承継・ブランディング支援
- ⑦地域活力でWell-beingプロジェクト
 - ・新たな活力を生み続ける「好循環」づくり

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費	
事業	大	0317	特定非営利活動法人設立支援事業 (簡略番号：042937)						
	中								
	小								
事業期間		令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分		経常的経費		事業の種類				未設定	
補助単独区分				目的区分				総-総-その他	

		所属		0101010800-0000		まちづくり企画課		
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算		
	事業費		100	100		100		
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源		100	100		100			

【事業概要】	
1.	事業の概要と必要性 【事業の概要】 特定非営利活動（NPO）法人の認証を取得した町内の団体に対して、その設立に要した経費の一部（4分の3）を助成するもの。（上限100千円） 【事業の必要性】 NPO法人設立当初の安定的な運営を図るとともに、NPO法人設立の促進及び町民等との協働によるまちづくりを推進するため支援が必要である。
2.	根拠法令 湯梨浜町特定非営利活動法人設立支援補助金交付要綱
3.	用地の状況
4.	基本計画との関連 【第4次総合計画】 共に支え合う町民が主役のまちづくり（コミュニティ活動の促進） 【地方創生総合戦略】 基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち（まちのにぎわい創出や拠点の形成） 【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」
5.	本年度の計画効果 【本年度の計画】 町内で設立されたNPO法人に対して、設立に要する費用の一部を助成する。 【事業の効果】 NPO法人の設立当初の安定的な運営を図ることができ、また、社会貢献活動による地域の活性化及び町民等との協働によるまちづくりを推進することができる。 【令和5年度評価】 町ホームページにて制度の周知を図ったが、実績につなげることができなかった。制度内容について引き続き広い範囲に案内し、町民と行政の協働によるまちづくりの推進を図っていく。
6.	財源の説明 【一般財源】 100千円

【事業費内訳】					
	節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01	報酬			16 公有財産購入費	
02	給料			17 備品購入費	
03	職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	100
04	共済費			19 扶助費	
05	災害補償費			20 貸付金	
06	恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07	報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08	旅費			23 投資及び出資金	
09	交際費			24 積立金	
10	需用費			25 寄附金	
11	役務費			26 公課費	
12	委託料			27 繰出金	
13	使用料及び賃借料			予備費	
14	工事請負費				
15	原材料費			合 計	100
					100

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】				
実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 031700000事業 特定非営利活動法人設立支援事業

歳出予算事業概要書

令和 6年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0321 中学校跡地施設整備事業 (簡略番号：043602)						
	中							
	小							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続		臨・経	臨時	
経費区分	經常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

所属		0101010800-0000	まちづくり企画課			
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	22,527		22,527	8,000	
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	22,527		22,527	8,000		

【事業概要】
1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
中学校等跡地の有効利用に上下水道整備に係る負担金を計上する。
<<旧北浜中エリア>>
・町水道事業による上水道管敷設工事負担金 18,000千円
・下水道整備に伴う下水道受益者負担金 4,527千円
【事業の必要性】
中学校等跡地の有効利用を図るため、上下水道の整備は必要である。
2. 根拠法令
3. 用地の状況
旧北浜中学校等用地 (田後745番地 他)
4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 未来を創造する先駆的なまちづくり (公共施設の跡地利用)
にぎわいと活力あるまちづくり (誘致体制の整備)
【SDGs目標】 「8 働きがいも 経済成長も」
5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
旧北浜中学校跡地内に上水道を延伸するための敷設工事費負担金及び下水道整備に伴う受益者負担金を本科目で計上し、水道事業会計、下水道事業会計へ支出する。
【令和5年度事業評価】
町道北浜中学校天神橋線内の一部に上水道管が敷設され当該工事費用を負担した。
6. 財源の説明
【一般財源】 22,527千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	22,527	22,527
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	22,527	22,527

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

02款 01項 06目 032100000事業 中学校跡地施設整備事業

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0323	湯梨浜町若者会議事業	(簡略番号：044228)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	総-総-その他			

所屬	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	413	366	47	266	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	413	366	47	266

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
 若者（16歳から35歳までの町内在住・在学・在勤・出身者等）で構成する「ゆりはま若者会議」を開催し、町の課題解決等に向けた話し合いのうえ、町に対する事業提案等を行ってもらう。

【事業の必要性】
 会議の開催により若者の町政への参画を促し、若者ならではの視点を活かした魅力あるまちづくりを行うことで、移住定住の促進、担い手育成等のまちの課題解決を図る。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】共に支え合う 町民が主役のまちづくり（住民参画社会の推進）
 【SDGs】目標11 「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 年間6回シリーズで開催する。町の現状把握、課題の発見や解決策等についての話し合いによって、町への事業提案等を行ってもらう。

【事業の効果】
 若者の町政への参画を促し、若者ならではの視点を活かした魅力あるまちづくりを行うことで、移住定住の促進、担い手育成などの町の課題解決につなげることができる。

【令和5年度事業評価】
 初めての取組であったが、鳥取看護大学の教授をコーディネーターに迎え、7名の参加による5回シリーズの会議を開催し事業提案を行うことができた。提案のあった事柄については、それを活かす取組の検討等を進めるとともに、若者会議の一層の充実に向けて取り組んでいきたい。

6. 財源の説明

一般財源：413千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	348	348	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	30	30	25 寄附金		
11 役務費	22	22	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	13	13	予備費		
14 工事請負費			合計	413	413
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0325 買物環境確保事業 (簡略番号：044599)	中		小	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	6,000		6,000	3,000	
	県支出金	3,000		3,000	1,500	
	地方債					
	その他					
	一般財源	3,000		3,000	1,500	

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 買物環境確保が必要な地域において店舗を新設して食料品、日用雑貨など日常生活に必要な物品を小売する事業を開始する事業者に対し、土地・建物・事業用設備取得・整備のための経費を支援する。
 ○補助率・補助金上限
 補助率10% 補助金上限3,000千円
【事業の必要性】
 当該事業者を支援することにより、地域の買物環境の維持・確保に資する事業を創出し、住民生活の機能維持・活性化を図る。
 2. 根拠法令
 湯梨浜町買物環境確保支援事業補助金交付要綱
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（商工業の振興）
【SDGs目標】「11 住み続けられるまちづくりを」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 鳥取県買物環境確保推進交付金を活用し、買物環境確保が必要な地域において新たに开店して日常生活に必要な物品を小売する事業者に対し建設費、改修費などの投資額を対象として補助を行う。
【事業の効果】
 事業者の初期投資の負担を軽減することにより、買物環境の維持・確保に寄与する事業の創出を図ることができる。
【令和5年度評価】
 1 事業者への補助を行い、買物環境確保のための新規出店に資することができた。
 6. 財源の説明
【県補助金】鳥取県買物環境確保推進交付金 3,000千円
【一般財源】3,000千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,000	6,000
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	6,000	6,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101462	鳥取県買物環境確保推進交付金	3,000	

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県買物環境確保推進交付金				
補助基本額	6,000	補助率	50.0%	補助金額	3,000

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 032500000事業 買物環境確保事業

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	12 国際交流推進費
事業	大 0112 英会話教室等事業 (簡略番号：002063)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属		0101010800-0000	まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財 源 内 訳	事業費	37	37	37	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	37	37		37	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 町民の英会話能力の向上や国際理解を深めるため、国際交流員や中学校の外国語指導助手を講師として小学生から大人を対象とした英会話教室を開催する。また、個々の語学力の向上と国際性を養えるよう、国際交流員を講師として町内の観光施設、飲食店、旅館等の従業員を対象とした接客英会話講座等を開催する。

【事業の必要性】
 国際社会において、母国語として一番多く使用されている英語を学ぶことにより、豊かな国際感覚を備えた人材の育成等を図る。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
 【第4次総合計画】共に支え合う町民が主役のまちづくり（多様な交流の推進）
 【SDGs】目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

①「英会話教室」
 対象：町内小学生（4年生以上）から大人 期間：5～6月、9月～10月/週1回

②「接客英会話講座」
 対象：町内観光施設、飲食店、旅館等の従業員等 期間：随時

③「出張日本語教室」
 対象：町内在住の外国人が勤務する町内企業 期間：随時

【事業の効果】
 英会話教室を通して、語学力の向上を図るとともに、国際理解を深めることができる。また、接客英会話講座や出張日本語教室を行うことで、外国人観光客への接客力の向上や町内在住外国人の日本語の理解促進が期待できる。

【令和5年度評価】
 英会話教室等を開催し、語学力の向上とともに、国際理解を深めることができた。

6. 財源の説明
 【一般財源】 37千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	4	4	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	25	25	25 寄附金		
11 役務費	8	8	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	37	37
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額	補助率	補助金額		

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 12目 011200000事業 英会話教室等事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	12 国際交流推進費
事業	大 0117 アロハフレンドシップ補助金 (簡略番号：002077)	中		細	
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,505	7,847	△6,342	6,568	417
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	356	1,643	△1,287	2,016
	地方債				
	その他				
一般財源	1,149	6,204	△5,055	4,552	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 姉妹都市提携を結んでいるアメリカ合衆国・ハワイ郡との交流を継続し、中学生の交流事業等を実施するものである。
【事業の必要性】
 平成8年に姉妹都市提携を締結して以来、友好交流を通じて中学生の国際理解等を深めることができる。

2. 根拠法令
 姉妹都市交流に関する盟約書

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う町民が主役のまちづくり (多様な交流の推進)
【SDGs】 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①ハワイ郡中学生の来町による交流事業
 ②ハワイ郡及びハワイ島日系人商工会議所関係者の来町による交流事業
【事業の効果】
 本町とハワイ郡の中学生等が交流することで、相互理解の向上が期待される。
【令和5年度評価】
 日本ハワイ姉妹州姉妹都市サミットへの参加、ハワイ郡への表敬訪問及びハワイ島日系人商工会議所会員の来町対応を通じ、姉妹都市関係の強化につながった。また、コロナ禍で途絶えていた町内中学生 (アロハメイツ) によるハワイ島を訪問を再開し、ホームステイや文化体験等を通じて、国際理解を深めることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 市町村創生交付金 (アロハフレンドシップ補助金) 356千円
【一般財源】 1,149千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,505	1,505
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,505	1,505

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101430	市町村創生交付金 (アロハフレ)	356	1,643

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県市町村創生交付金		
補助基本額	1,505	補助率	23.6%
		補助金額	356

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13	ハワイアロハホール費
事業	大 0111	ハワイアロハホール臨時経費 (簡略番号：002250)				
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	総-総-その他		

所属		0101010800-0000		まちづくり企画課	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	93,939	29,668	64,271	32,792	4,550
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	80,700	13,900	66,800	13,500
	その他				
	一般財源	13,239	15,768	△2,529	19,292

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】
老朽化等に伴う施設・設備の改修を行う。
 - 【事業の必要性】
施設を快適かつ安心して利用していただくため、改修などの施設設備の老朽化等への対応が必要である。
- 根拠法令
ハワイアロハホールの設置及び管理に関する条例
ハワイアロハホールの設置及び管理に関する条例施行規則
- 用地の状況
- 基本計画との関連
 - 【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとつづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）
 - 【SDGs目標】4. 質の高い教育をみんなに
- 本年度の計画効果
 - 【本年度の計画】
〈委託料〉
ハワイアロハホール大ホール耐震天井改修等工事監理業務
〈工事請負費〉
 - ①大ホール耐震天井改修等工事
天井の耐震化(落下防止措置)、照明器具のLED化、空調・音響設備の着脱及び火災感知機器の更新
 - ②施設内照明LED化工事
別の実施する大ホール・ホワイエ・集会室・事務室以外の施設内LED化工事
 - 【令和5年度評価】
施設設備の老朽化が進む中、必要箇所の修繕等を実施するとともに、デジタル化にも対応した設備整備を行い来館者に安全な施設環境を提供することができた。
- 財源の説明
 - 【地方債】脱炭素化推進事業債 57,100千円 緊急防災・減災事業債 23,600千円
 - 【一般財源】13,239千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	982	982	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	92,957	92,957			
15 原材料費			合計	93,939	93,939

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010101004	脱炭素化推進事業債（アロハホ	57,100	12,100
地方債	21010103010	緊急防災・減災事業債（アロハ	23,600	1,800

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13
事業	大 0115 自主公演事業 (簡略番号：002227)				
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,555	682	873	534	144
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	80	682	△602	534
	一般財源	1,475		1,475	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 自主企画を始め、各種共催事業等へ積極的に応募し、質の高い公演の提供に努める。今年度は町制施行20周年記念事業として、伝統芸能の公演及び文化講演会を開催する。
【事業の必要性】
 町民の文化意識の高揚のため、芸術文化の拠点であるアロハホールにおいて優れた芸術や文化交流の場を提供することが必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）
【SDGs目標】 4. 質の高い教育をみんなに

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ◎ スタインウェイピアノを弾こう会
 世界最高峰のピアノを安価で貸し出すことで、町民等へ使用の機会を設けるとともに、施設のPRを図る。また、ピアノのコンディションを維持する。
 ◎ 町制施行20周年記念事業
 伝統芸能の公演及び文化講演会を開催する。
【事業の効果】
 自主企画事業の実施により、文化の発信源としての機能を果たすとともに設備を活用した文化活動の推進を図る。また他団体との連携を図り、共催事業等を積極的に行うことで、安価に質の高い芸術文化を提供することができる。
【R5年度評価】
 ・スタインウェイを弾こう会（2回）
 住民に芸術、文化交流の場を提供できた。

6. 財源の説明
【諸収入】 アロハホール入場料 80千円
【一般財源】 1,475千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	227	227	25 寄附金		
11 役務費	124	124	26 公課費		
12 委託料	1,204	1,204	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,555	1,555

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
諸収入	20050302234	アロハホール入場料	80	682

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

令和 6年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	05 統計調査費	目	02 委託統計費
事業	大 0014 農林業センサス (簡略番号：003698)				
	中				
	小				
事業期間	令 6. 4. 1～令 7. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総一統計調査費		

所属		0101010800-0000	まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,384	4	2,380	4	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	2,383	3	2,380	3
	地方債				
	その他				
	一般財源	1	1		1

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
 継続事業
【事業概要】
 農林業及び農山村の現状と変化を的確に捉え、きめ細かな農林行政を推進するため、5年ごとに農林業を営んでいる全ての世帯と組織を対象に調査を実施する。本年度は、令和7年2月1日を基準日として調査を行う。
【事業の必要性】
 委託事業
【実施期間】
 基準日 令和7年2月1日（本調査）
 2. 根拠法令
 統計法
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 令和7年2月1日を基準日として、農林業を営んでいる全ての世帯と組織を対象に調査を実施する。
【事業の効果】
 国の統計調査に寄与する。
【令和5年度評価】
 令和6年度の調査を円滑に実施するため、準備等の事務を行った。
 6. 財源の説明
【県支出金】 農林業センサス費委託金 2,383千円
【一般財源】 1千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,300	2,300	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	48	48	25 寄附金		
11 役務費	36	36	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	2,384	2,384
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15030103002	農林業センサス費委託金	2,383	3

【補助金】

補助金等の名称	農林業センサス調査委託金		
補助基本額	2,383	補助率	100.0%
		補助金額	2,383

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 05項 02目 001400000事業 農林業センサス